

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けての浦添市医師会長声明

沖縄県内での新型コロナウイルス感染者数も4千人を超え、浦添市におきましても4百人を超える感染者が出ている状況です。

浦添市医師会の会員施設におきましても、重点医療機関として重症者を受け入れている浦添総合病院をはじめ、PCR検査を実施している医療機関、発熱の患者さんを診療している多くの施設で感染リスクと向き合いながら、日々緊張とストレスの中で治療にあたる状況が続いており、医療現場からは、この終わりの見えない現状への疲弊感が色濃くなっている現状がございます。

浦添市医師会としましては、去る5月に「浦添地区新型コロナウイルス検体採取センター」として、PCR検査センターを浦添市との協働で、「アイム・ユニバースてだこホール」へ設置しております。その後は検査体制も拡充され、現在24ヶ所の医療機関で発熱外来やPCR検査を受けることが可能となりましたが、10月以降検査件数が激増し、陽性者数も増えている状況となっております。また、今年は新型コロナとインフルエンザの同時流行も危惧される中、浦添市医師会としては、浦添市との協働により例年の高齢者インフルエンザワクチン予防接種事業に加え、県内でも浦添市のみのものである医療・介護・障がい福祉・保育従事者へのインフルエンザワクチン予防接種事業へも積極的に協力し、市民の皆さんの疾病予防、健康の維持・増進への取り組みを応援しております。

明日から12月を迎えるにあたりまして、更なる新型コロナウイルス感染拡大や病床のひっ迫が予測され、医療現場の疲弊を大変懸念しているところです。限られた医療資源を守り、安心した救急医療や日常診療体制が維持できるように、市民の皆さんへは、年末年始においても、日頃の体調管理に努めていただき、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための「三密」や「5つの場面」の回避、「マスクの着用」、「手洗いや咳エチケットの徹底」、また改めて不要不急の外出を避けるなどの基本的な感染予防対策を意識・徹底していただくことをお願い申し上げます。

浦添市医師会としましても、地元浦添市との連携・協働はもとより、沖縄県をはじめ沖縄県医師会や各地区医師会との連携を図りながら、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めていきたいと考えておりますので、市民の皆さんのご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

令和2年11月30日

浦添市医師会長 洲鎌 盛一